

# ねえみてみて！



皆様のおかげで、小規模保育園  
おおきな木は、令和4年10月1日  
(土) 7周年を迎えることができました。心より感謝申し上げます。

初のワークショップイベントや  
Instagramの開設など様々チャレ  
ンジを行っておりますが、大切にし  
たいことは、変わらず、大人も子ど  
もも、それを見ている誰かも「いい  
ね」って思える環境作りだと思っ  
ております。  
これからも、変わらぬ御愛顧の  
程、どうぞ宜しくお願いいたしま  
す。

さて、第六回目のちょっとひと

きですが「ねえみてみて！」と題しまして、  
大切にしている瞬間について書いてみました。お付き合いください。

「ねえ、ぶろっく」「みどりだよ」この瞬間がめちゃくちゃ嬉しいです。  
子どもたちは、誰にでも「みてみて」とするわけではなく  
好きな人、一緒にみてほしい人に「みてみて」と。「みせてくれるの、嬉しいなあ」「ありがとう」そ  
んな言葉がしぜんとでできます。

子どもたちの「みてみて！」は、  
自分がみつけたことや、感じたこと、できたことを、好きな人にみてもらいたい  
自分の存在を認めてもらいたいという気持ちの表れですよ。

大切にしたいのは  
「共感」

自分の存在を無条件で受け止めてくれる存在がいるというのは、安心感や自己肯定感に繋が  
ります。

たっぷりの愛情をそそぐ瞬間ですよ。

目線を合わせて「ブロックだね、みどりだね」「おおきいね～、くっつけたの？いいね～」笑顔で  
うなずくと、満足気な表情を見せてくれます。

「みてみて」連鎖が始まり、園内が笑顔であふれる瞬間でした。